

学校法人先端教育機構 (文部科学大臣認可)

事業構想大学院大学 令和5年度入学式を挙行

事業の根本のアイデアから発想する、クリエイティビティを重視した社会人大学院。開学からの総入学者数は900名を突破。

学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学(本部:東京都港区、学長:田中里沙)は、東京・名古屋・大阪・福岡・仙台の全国5校舎で令和5年度入学式を挙行し、新たに136名の社会人院生を迎えました。新入学院生はこれから2年間の専門職学位課程の中で、事業構想と構想計画の構築・実践を研究し、自身の事業構想計画書を完成させ、「事業構想修士(専門職)」の学位取得を目指します。



事業構想大学院大学 東京 令和5年度入学式

2023年4月8日、帝国ホテル 東京を会場に学校法人先端教育機構 社会構想大学院大学と合同で挙行。

理事長祝辞 学校法人先端教育機構 理事長 東英弥

学校法人先端教育機構を代表して、東英弥理事長より新入学院生へ祝辞を贈りました。



学長式辞(一部抜粋) 事業構想大学院大学 学長 田中里沙

本学は、2012年4月に、文部科学大臣の認可を得て開学し、おかげさまで12年目を迎えました。人的資本経営による企業価値の向上が志向される中、社会人対象の大学院への期待は高まっていますが、特に本学は、事業構想の研究を行う特色ある高等教育機関として、各方面から期待を得ています。これまでに事業構想修士の学位を取得して、活動する修了生は現在572名となり、全国で躍動をしています。高度な情報社会を生きるには、義務教育や当時の高等教育において一度取得した知識だけでは不十分です。

院生の皆さんは、日々自らの知性を更新する意識で、仕事や組織に改革、革新、イノベーションを生み



出すことを目指し、果敢に挑戦を続けてくれたらと願います。構想の力で社会に新たな価値をもたらす、持続可能な成長の担い手として、研究に取り組み、自らの可能性を拓くチャレンジに向けて進む、これからの2年間で、皆さんにとってかけがえのない日々となり、人生の新たなきっかけになることを教職員一同、確信し、全力で応援していきます。多くの気づき、刺激とアイデアを糧に、皆様が本学での研究を機に、さらなる成長を果たされますことを祈念し、お祝いの言葉といたします。

海外含め広域から集結した、多様な社会人院生

オンライン環境の充実により、校舎設置地域だけでなく海外(オーストラリア、ベトナム等)を含めた広域から、年代、業種、職種も異なる多様な社会人院生が入学しています。

事業構想大学院大学 東京



【2012開校】 校舎 | 表参道駅から徒歩1分
令和5年度入学人数 : 48名
修了生人数(1期~11期) : 359名

事業構想大学院大学 名古屋



【2019開校】 校舎 | JRゲートタワー27階
令和5年度入学人数 : 12名
修了生人数(1期~3期) : 61名

事業構想大学院大学 大阪



【2018開校】 校舎 | グランフロント大阪10階
令和5年度入学人数 : 24名
修了生人数(1期~4期) : 79名

事業構想大学院大学 福岡



【2018開校】 校舎 | JRJP博多ビル4階
令和5年度入学人数 : 21名
修了生人数(1期~4期) : 73名

事業構想大学院大学 仙台



【2022開校】 校舎 | JR仙台イーストゲートビル7階
令和5年度入学人数 : 31名

学校法人 先端教育機構
事業構想大学院大学

開学:2012年

校舎:東京、名古屋、大阪、福岡、仙台

修了生:572名

現役院生:277名

プロジェクト研究員:2,000名以上

(ご参考)

572名の修了生が全国各地で活躍

事業構想大学院大学は開学から11年で572名の事業構想修士を輩出しました。本学出版部が発行する月刊誌「月刊事業構想」では、毎号修了生の事業構想を紹介しています。

『世界に1冊だけの絵本をギフトに アバター絵本サービスを構想』



東京校9期生/2021年度修了 國則圭太さん(えほんインク代表取締役CEO)

絵本に登場するキャラクターを自分(子ども)に変えられるアバター絵本サービス『ÉHON INC.(えほんインク)』を発表。メディアでも多数紹介され注目を集めている。サービスの発想は以前からあったものの、事業をいかにスケールするか悩み、構想力を身につけるため本学に入学。絵本のキャラクター制作にアバターを活用し、フルオーダー絵本よりもコストを下げるアイデアは在学中に生まれた。



アバター絵本サービス『ÉHON INC.』

國則さんコメント 「アカデミックに体系化された発想法を知れたことは大きかったし、何より、アイデア発想は1人では限界があります。壁打ちできる仲間や先生がいる環境は貴重でした。」(月刊事業構想2023年3月号より)

記事URL <https://www.projectdesign.jp/articles/888508b1-30d1-467a-90f8-1c0b63a8ee53>

『100年後も残る「青山」文化を エリアマネジメントの極意』



東京校2期生/2014年度修了 水野成美さん(市街地開発専務取締役)

東京・青山で進められている大規模再開発計画「北青山三丁目地区まちづくりプロジェクト」に計画段階から地域と行政・民間企業の橋渡し役として参加し、現在はエリアマネジメントを推進する水野成美氏。100年後の未来を見据えたまちづくり構想や、青山への想いを聞いた。

水野さんコメント 「大企業社員であれ経営者であれ、誰もが知識や経験は偏っているんだ、ならば自分の得意分野を活かせばいいんだと気づいてからは自信が付きました。」(月刊事業構想2022年5月号より)

記事URL <https://www.projectdesign.jp/articles/cb00118c-68a3-4bb3-8592-0eaff936dc1e>

『事業承継 地域に必要とされ続ける会社へ、新規事業を量産』



福岡校1期生/2019年度修了 吉本龍太郎さん(中特ホールディングス取締役)

山口県周南市で、廃棄物処理を中心とした環境事業を展開する中特ホールディングス。取締役未来創造室室長の吉本さんは事業承継者で、グループの持続的な発展に向け、教育ビジネスや廃棄物アートコンテストなどの新規事業を次々と開発している。経済産業省中小企業庁主催のピッチコンテスト「第3回アトツギ甲子園」で地方大会を勝ち抜きファイナリストに選ばれた。



アートコンテストの様相

吉本さんコメント 「もともと営業活動は得意で、1を10に育てることは自信がありました。ただ、経営者としてはゼロイチの能力が必要だと考えていたころ、大学院を知り入学を決意しました。」(月刊事業構想2023年2月号より)

記事URL <https://www.projectdesign.jp/articles/3f2f2afe-4ffc-4dac-ae0d-cb9ef98c0a58>

『鉄道から商店街へ、知見と技術を応用 川崎重工の新規事業』



大阪校2期生/2020年度修了 永原齊さん(川崎重工業 技術開発本部)

川崎重工業は神戸・三宮の商店街で、公共空間向けコミュニケーションアプリ「Real D You(リアデュー)」の地域活性化実証事業を開始した。本プロジェクト責任者である永原さんが大学院で研究した事業構想計画書を形にしたものだ。

永原さんコメント 「鉄道車両事業の新規事業を考えるワーキンググループに参加し、初めて事業企画に関わりました。リアデューの元となるアイデアは実はこのとき生まれたのですが、当時の提案は全くうまくいきませんでした。その過程で事業構想手法を体系的に学びたいと思うようになり、大学院に出会いました。」(月刊事業構想2022年10月号より)

記事URL <https://www.projectdesign.jp/articles/e6321e7b-3193-4a88-a50f-b79a9902b754>

『IoT活用でコンポストを楽しく 社内外で新規事業に挑戦』



名古屋校1期生/2020年度修了 濱谷政士さん(ブラザー工業 新規事業推進部)

大手製造業に勤務しながら、個人でIoTセンサを使ったデジタルコンポスト「コンポストペット」の事業開発を行う濱谷さんは年内の正式リリースを目指し活動している。大学院での学び直しと研究が自身の転機になったと話す。

濱谷さんコメント 「入社以来レーザープリンターの開発に取り組んできました。この数年はマネージャーに就き、新商品開発チームを立ち上げたりしましたが、なかなか成果が出ないことが課題でした。自分に何か足りないことがあるのではないかと、社外に出て学び直そうと考え、名古屋校に1期生として入学しました。同じ方向を向いた人がこれだけ集まること、年代も職種も、スキルもバラバラな人たちが肩書を取り払って学びあえる環境は、すごく充実していました。」(月刊事業構想2023年4月号より)

記事URL <https://www.projectdesign.jp/articles/8fef3cf-1d3b-4c85-bc3f-53a49cd019cf>

事業構想大学院大学には、経営者、承継者、新規事業担当者、自治体職員、医師、教師など多様な業種業界から多彩な社会人院生が入学しています。現役院生のインタビュー動画をご覧ください。

【動画】事業構想大学院大学に集う魅力的な院生

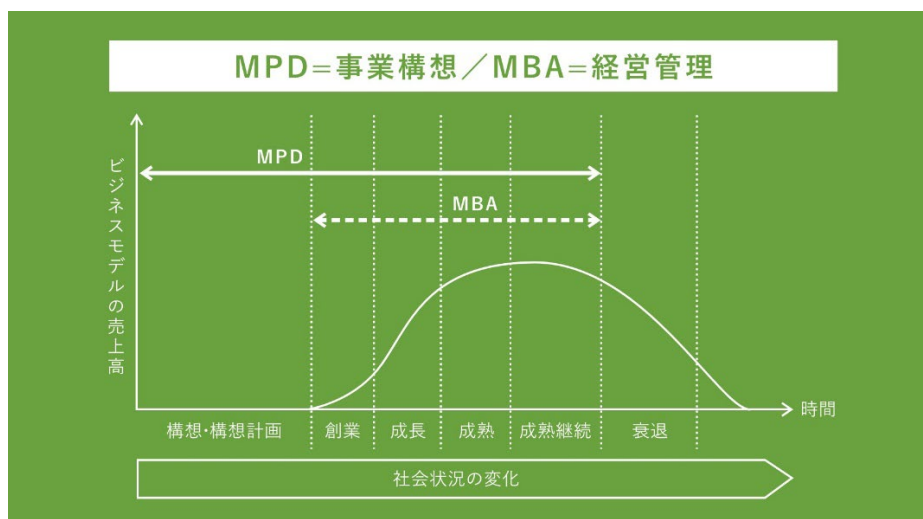
<https://youtu.be/jw-pFO5zZn4>

事業構想は、クリエイティビティ+MBA(経営管理)

アイデアを生み出し続ける2年間

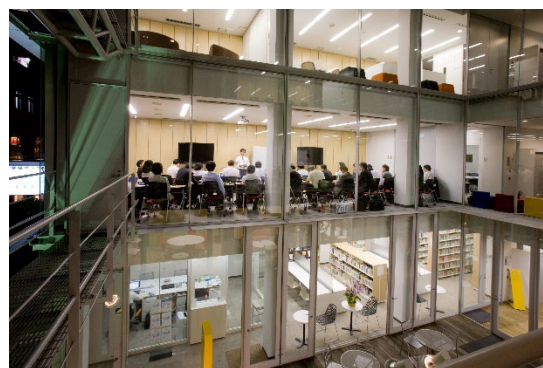
あらゆる組織に求められるものは、構想です。構想とは、理念の姿の構築であり、構想と構想計画を考え、実現することで企業、地域、そして社会に新たな価値が創出されます。

既存の事業に対する経営管理の手法に加え、その前段階となる事業の根本となるアイデアの発・着・想から、理想を実現するための構想計画策定までを専門的に研究します。



■事業構想大学院大学について

2012年4月に東京・南青山に開学した、事業構想と構想計画を構築・実践する社会人向け専門職大学院です。事業の根本からアイデアを発想し、事業の理想となる構想を考え、実現するためのアイデアを紡ぎ、構想計画を構築していくことを対象とした多様なカリキュラムを提供しています。多彩な業界で活躍する教員・院生と議論を重ね、2年間で事業構想計画書の提出を経て、専門職学位の「事業構想修士(専門職)」(MPD: Master of Project Design)が授与されます。拠点は東京ほか、仙台、名古屋、大阪、福岡の5校舎で、現在12期目 計572名が修了し、数多くのイノベーションとなる新事業が生み出されています。また、本学の附属研究機関である「事業構想研究所」では、企業・事業のプロジェクトベースでの研究が活発に実施され、既に2,000名以上が課程を修了しているほか、月刊『事業構想』等の出版を始め、研究書籍を発刊しています。その他、詳細は大学院HP (<https://www.mpd.ac.jp/>)をご覧ください。



事業構想大学院大学 東京・校舎

- * 公益財団法人 大学基準協会の大学認証評価(専門分野別・機関別認証評価)で「適合」評価
- * 厚生労働省の教育訓練給付金(専門実践教育訓練)に指定(国から最大112万円を給付)

■学校法人先端教育機構の概略

名称 学校法人 先端教育機構
 理事長 東 英弥
 所在地 東京都港区南青山3-13-16
 設置校 事業構想大学院大学 (本部: 東京都港区南青山3-13-16)
 拠点: 東京、名古屋、大阪、福岡、仙台
 社会構想大学院大学 (東京都新宿区高田馬場1-25-30)
 附属機関 事業構想研究所、先端教育研究所、SDGs総研
 出版 月刊事業構想、月刊先端教育、書籍等



文部科学大臣認可
 学校法人 **先端教育機構**
 Advanced Academic Agency

【取材依頼等、本リリースに関するお問い合わせ先】

学校法人先端教育機構 広報室
 TEL: 03-3478-8411 / FAX: 03-3478-8412
 Mail koho@sentankyo.ac.jp